

ITER 第 1 回政府間協議及び ITER を巡る各国状況について

平成 13 年 11 月 13 日
文 部 科 学 省

1. 公式政府間協議（11月8日、9日、カナダ・トロントにて開催）

- ① 2002 年末まで協定案を策定するための作業計画を、情勢変化に応じて柔軟に対応していくものとしつつ、確認した。
- ② 以下の点について議論を行い、今後検討を進めていくこととした。
 - ・ 協定の骨子
 - ・ コスト分担と調達配分の考え方
 - ・ サイト共同調査の進め方
- ③ 以上に必要な作業は、サブグループを設置して、政府間協議からの指示の下で具体的な作業を進め、政府間協議に対して報告する。
- ④ 次回政府間協議は 2002 年 1 月、東京で開催することとなった。

2. ITER を巡る各国状況

① 欧州のサイト検討状況

- ・ 10 月 30 日の欧州研究相理事会で仏研究大臣から ITER サイトとしてカダラッシュが提案された。
- ・ 今後はビュスカン欧州委員（研究開発担当）が各国と協議の上、仏の追加負担を前提に ITER を欧州に誘致する旨のまとめを提示する予定である（12 月の欧州研究相理事会にも見込まれる）。
- ・ このまとめを基に、仏政府は財政面も含めた政府決定を行い、一方、EU は予算、サイトも含めた交渉権を認める手続きに入る（来年 3 月の欧州研究相理事会の公算が大きい）。

② 米国の復帰問題

- ・ 米国の復帰は、ITER にとっても意義が大きい共通認識の下、各極とも働きかけを行っていくこととなった。

第1回ITER公式政府間協議出席者
(平成13年11月8日(木)～9日(金) カナ・トロント)

日本	青江文部科学省文部科学審議官 (代表) 素川文部科学省官房審議官 大竹文部科学省核融合開発室長 長内外務省参事官 林外務省国際科学協力室事務官 山口内閣府政策統括官付参事官補佐 岸本原研理事 吉川原研顧問	他
EU	フィンチ欧州委員会研究総局核融合担当首席顧問 (代表) リジョン欧州委員会通商総局員 ブラッドショー核融合技術委員会議長 バンデンプラス核融合エネルギー計画調整委員会副議長 バルダス欧州核融合開発協定運営委員会議長 ワトー仏原子力庁科学顧問	他
カナダ	キャンベル連邦天然資源省経済・財政分析部長 (代表) チャーチ外務貿易省科学技術部上級顧問 ポッター・オンタリオ州政府担当官 ミジャール連邦天然資源省顧問 パーナードITERカナダ会長 ステュワートITERカナダ取締役 スリーマITERカナダ顧問 ヘミングス・カナダ原子力担当者	他
ロシア	ヴィノグラードフ原子力省第1次官 (代表) ベリコフ・クルチャトフ研究所総裁 ソコロフ原子力省原子力科学技術本部長 シュチュルバク科学技術省副本部長 イヴァノヴァ外務省部長	他
国際チーム	エマール・リーダー 下村共同リーダー バラバッシ・メンバー	